



日田の今が見える、日田のこれからが見えてくる

市議会だより



工事着工が決定した日田キャノンマテリアル

もくじ

- 12月定例会で審議した議案とその結果
…2ページ
- 各委員会の議案等の審査結果、臨時会の結果
…10～11ページ
- 市政に反映、皆さんの声
(一般質問) …3～9ページ
- 請願の結果・意見書・人事案件・公職
選挙法に関するQ&A …12ページ

12月定例会で 審議した議案とその結果

12月 定例会

日田市一般会計補正予算などを可決

平成二十二年第四回定例会は、十一月三十日から会期十八日間で開かれました。
この議会では、条例の制定、一部改正、三億二千六百三十四万円を追加する平成二十二年
年度一般会計補正予算など、十五件の議案について審議を行い、それぞれ左記の結果のと
おり決定いたしました。

●会期
11/30~12/17



日田市分担金徴収条例の一部改正について	(原案可決・全員)	平成二十一年度日田市後期高齢者医療特別会計補正予算(第二号)	(原案可決・全員)
日田市立小学校の統合について	(原案可決・全員)	平成二十二年日田市公共下水道事業特別会計補正予算(第一号)	(原案可決・全員)
日田市立小学校の設置に関する条例の一部改正について	(原案可決・全員)	平成二十一年度日田市情報センター事業特別会計補正予算(第一号)	(原案可決・全員)
市営土地改良事業(基盤整備促進(天神地区農業用排水施設整備)の施行について	(原案可決・全員)	平成二十二年日田市水道事業会計補正予算(第一号)	(原案可決・全員)
日田市立保育園の指定管理者の指定について	(原案可決・全員)	平成二十一年度日田市一般会計及び特別会計歳入歳出決算の認定について	(原案認定・多数)
公益的法人等への職員の派遣等に関する条例の制定について	(継続審査)	平成二十一年度日田市水道事業会計決算の認定について	(原案認定・全員)
平成二十二年日田市一般会計補正予算(第二号)	(原案可決・多数)	日田市固定資産評価審査委員会委員の選任について	(原案同意・全員)
平成二十二年日田市国民健康保険特別会計補正予算(第二号)	(原案可決・全員)		

一般質問

市政に反映
皆さんの声

平成二十二年第四回市議会定例会では、十二月七日、八日、九日の三日間にわたり、市政に関する一般質問が行われ、十六人の議員が諸問題について質問しました。それぞれの質問の中から、その要旨をお知らせします。

市長の出馬意向と
予算編成方針は

飯田 茂男

質問 市長の任期満了を前に、再選出馬に向けた意向と新年度の予算編成方針について伺う。

市長 この四年間「市民が元気で活躍できる日田」などを目指して市政に当たったが、経済不況は日田市に大きく影響を及ぼした。そこで景気雇用対策に全力を挙げる一方、将来に向けて日田を元気にする取組や将来性を切り開く取組等を始めたが、課題も多く、まだ道半ばだ。従って更に四年間、市

長として市民の負託をいただき、諸問題に率先して力を尽くし、これに応えていく決意を新たにしたい。予算編成は、市長選挙を考慮し

骨格予算とした場合、政策的な事業実施が遅れ、市民サービスに影響を及ぼす。市内の景気経済状況から本格予算の編成を考えている。

質問 塚田本川牧場の牛ふん堆肥投入量が過剰のため、土壌や河川が汚染されているとの騒ぎがある。に係る総合整備事業への姿勢と県・市の土壌検査等の信頼性を伺う。

市長 五馬地区環境対策協議会から事業の中止を求める陳情を受けて、地区の皆さんの納得が得られなければ、予算計上しない旨を県



に伝えた。土壌検査の結果は、問題となる数値ではなかった。河川

流末の水質を毎月検査しており、五馬台地の環境には重大な関心をもち、県と協議し取り組む。

質問 このほか、小学校の教室へのエアコン設置や校舎等の耐震改修など教育施設の整備計画、また観光振興面から、天領まつりや千年あかりの事業効果についても、教育次長・部長に答弁を求めた。



子ども議会の
開催について

古田 京太郎

質問 子どもたちの描く夢や日田市の将来像を子どもたちなりの考えや率直な意見を聞く、子ども議会の開催を検討したらどうか。

部長 日田市の将来を担う子どもたちが、自分たちの住む町についてどう思っているか、今後どうしたらよいかなど、子どもたちの自主性や創造性を養うには大変有効であると考えている。保護者や教育委員会、市議会など関係機関を交えていま少し研究したい。

質問 博物館建設について、市はどのように考えているか伺いたい。
教育次長 博物館基本構想の策定作業を進めている。専門知識を持った学芸員の配置を含め、新博物館の建設に向けて、関係各課と協議を進めている。

質問 小畑日田線の早期拡幅整備について伺いたい。
課長 現在進行中の丸山五和線の工事のめどが立たないと次に進めない。この四工区のうち、中釣工区の用地買収が遅れている。中ノ

島工区は二十四年度、全体の路線の完成は二十年代後半になる予定である。小畑日田線の早期拡幅整備に向けて市も努力したい。

質問 いじめ・不登校の実態と対策について伺いたい。

教育長 平成二十一年度の小中学校のいじめの認知件数は二百三件で、各学校において早期発見・対応に積極的に取り組んでいる。対策としては、日記指導、個人面接、いじめ調査、スクールカウンセラーを活用した心のケアなど児童生徒に寄り添った対応を行っていきたいと考えている。

日田市の歴史的文化財を活用した町づくりを

川崎 邦輔

質問 太宰府まで里帰りした金銀錯嵌珠龍文鉄鏡の借用期限が、来年末に来る。期間延長への取組は。
教育次長 大陸との交流を示す貴重な文化財で、「日田に里帰りを」との声も承知している。機会を捉え、国と期間延長の協議をする。

質問 市の歴史的な風致を見る時、平成二十年制定の歴史まちづくり法は、市の町づくりに最適と思う。



国の認定を目指してはどうか。

教育次長 歴史文化を観光資源として認識している。本法は、省庁の枠を超えた事業で、来年の市文化財基本計画策定の中で、その有効性・必要性を探りたい。

質問 民間団体が郷土史の編さんに取り組んでいる。助成措置や副読本として活用できないか伺う。

教育長 子供の郷土愛の育成に役立つと判断し、団体に監修を委託、授業の副読本として活用する。また、公共施設等にも配本したい。

質問 県内には、他県のように県立の公共施設がバランスよく配置されていない。博物館構想の中で、百億円規模の生涯学習の拠点設置を、県に要望できないか伺う。

市長 県にいた時、前知事は、何でもかんでも大分市周辺に大きな施設をつくり、何で日田に何も無いのかと思っていた。廣瀬知事に

は、そうならないように申し上げている。何か持ってこれれば、この上ない。今後も県と話をする。
質問 議会は、海外物産展のことで、市長に説明を求めたが拒否した。どうして垣根を作るのか。
市長 一線を画す気はない。私の判断で必要ないと思いき、断った。

地元産品の海外での販売は再考を

樋口 文雄

質問 地元産品の海外での販売に關し、行政の施策を伺いたい。

部長 ミラノ、台湾、上海、ニューヨークで事業を行った。

質問 ニューヨークの歩行者天国で行った事業の成果はどうか。

市長 様々な情報を得ることができ、次回につながるものがあつた。

質問 今回、柚子胡椒が売れたというが、商社に依頼しないと継続性はないのではないか。

市長 商社等に頼っている、商品販売は難しい。行政で支援を行っていききたい。

質問 ブランドおおい輸出促進協議会を通じ、販売を行った方がよいのではないか。

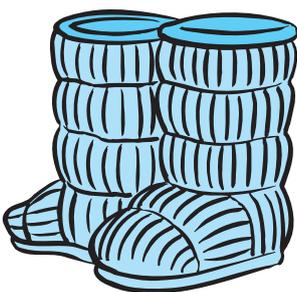
部長 梨や木材等は行っている。
質問 費用対効果も大事と思うが。
部長 行政が支援することで、商業ベースに乗せていきたい。
質問 国民読書年への取組について伺いたい。

教育長 活字・読書離れにより、読解力や言語力が衰退しており、図書館では本の購入やブックスタンプラリー等の取組を行っている。
質問 育友会等が、生徒の読書応援をしている学校はあるのか。

教育長 桂林小学校、高瀬小学校等で応援してもらっている。
質問 デジタル黒板が導入されたが、成果は出ているのか。

教育長 成果はすぐには出ない。これからである。

質問 教科書のデジタル化は、まだ早すぎるのではないか。
教育長 デジタル化の波は抑えきれない。紙の教科書の良さはあるので、使い分けが必要である。



里道対策、農業問題
について

中野 靖隆

質問 日田市が管理する市道は、整備が進んでいるが、生活に密着した里道については、生コン等の

原材料を支給、工事費については地元関係者で負担することになっている。高齢者が多い地区では負担金を出すことができない。里道の整備について市長の見解を伺う。

市長 高齢化、過疎化に対する里道の維持管理の在り方については、市が直接施工する制度について検討中であり、要件等の整理ができ次第、条例改正を議会に提案したい。できれば次年度からでも実施ができるように取り組んでいきたい。

質問 ほ場整備後の水はげが悪く、湿地状態の水田が多発し、農作業に支障を来しているが、状況の把握と今後の対策について伺いたい。
部長 湿地の状況については、現在、東有田地区等で約十八ヘクタールの要望があり、県と現地の確認をし、今後も更に増えるものと認識している。今後の対策につい

ては、国・県の補助事業で農家にとつて有利な事業を県と連携し早期の対応を図りたい。

質問 歩道と街路樹対策について、特に問題となっている駅前周辺、中央通り周辺の対策は、その後どうなっているのかを伺いたい。

課長 現在、都市再生整備計画事業として、県に事業採択を要望している。今後の予定は、国の許可を受けた後、地元関係者と協議し、実施したい。

質問 その他、鳥獣被害対策、林道問題、日田式循環型有機農業について質問した。

救急医療情報キット
配布事業導入について

城野 禮子

質問 救急医療情報キット配布事業の導入について所見を伺う。

部長 救急医療情報キットは、高齢者や障がい者の方が本人の氏名、生年月日、血液型、かかりつけ医療機関及び緊急連絡先等の情報をあらかじめ救急情報シートに記載したものを保管容器に入れ、自宅の冷蔵庫に保管しておく、万が一の時に救急活動が迅速・的確に取

れるということ、現在、県内四市が導入している。日田市でも今後導入について検討していきたい。

質問 日田のように気候条件が厳しい地域でも、四季を通じ一年中変わらず生産出荷できる植物工場をどう考えるか所見を伺う。

部長 安全・安心な国産食材を求める消費者意識の高まりにより、農業を全く使用せずに生産可能で虫や異物の混入が少ないことを特徴として洗わずに食べられる野菜をセールスポイントに、消費者の理解も急速に進み、植物工場への注目と期待は高まっている。地域活性化に貢献する新産業に成長することが期待されていることから植物工場の情報収集は行っていく。

質問 校庭の芝生化導入計画は。
教育次長 現時点での校庭芝生化計画はないが、県においては昨年度から二か年で校庭芝生化モデル

とされている。日田市でも今後導入について検討していきたい。



事業を実施し、芝生化の効果や維持管理上の課題について、調査研究を進めている。その成果及び他の市町村の情報収集をしながら芝生化についての検証を行いたい。

質問 その他、小迫辻原遺跡公園整備計画、日田市学校情報携帯メール配信システム導入を尋ねた。

駐車場の安全管理体制
について

松野 勝美

質問 マイカーなどで来られた方の駐車場整備に、問題点はないか伺いたい。

部長 観光客の方に御利用いただいている駐車場としては、月隈公園駐車場、港町に三か所、三本松駐車場、中城にバス専用の駐車場等がある。

質問 今回の天領まつりで、事故はなかったのか伺う。

部長 天領まつり・千年あかりの開催において、各駐車場は、ほぼ満杯であったが、港町駐車場付近の大きな溝に気付かず転落した事故が発生している。

質問 今回の事故もあって、どうされるか伺う。

部長 関係機関、関係課と協議をしながら、再発防止策は講じるようにする。

質問 この溝は、夜見えづらく、危険だと何度も地域の方と話をした。危機意識が薄い。今回、土木課に行っても、観光・ツーリズム振興課に行ってもらわぬが明かない。しっかり横の連携を取り、市民の安全を考えるべきと思うがどうか。

市長 御指摘のとおりだと思う。危機管理に対する意識をもっと強く持つように、これからリーダーシップを発揮する。

質問 今回の子宮頸がんワクチン接種は、二年間の特例措置だと思うが、恒久制度ということにするべきだと考えるがどうか。

部長 国は、今後予防接種法における定期接種化を検討している。

質問 その他、父子家庭の児童扶養手当、緊急保証制度を質問。



市長の市政運営について

室原 基樹

質問 市長は本市経済の活性化と市民参加の市政、それに行財政改革を基本理念として、三年有余の市政執行において、日田を変える事ができたと思うのか伺いたい。

市長 市政を変える方策として、議員お尋ねの四項目を基本方針に、三年間、予算編成の中で施策実現の措置をした。主なものが地場産業の活性化に向け、福岡市を対象に、日田の観光や物産の情報を、生活領事館を拠点に発信し、また日田を売り込むため、福岡大丸を始め首都圏や海外での物産品の販売を実施。農林業の分野では、日田産木材の需要拡大やブドウ等の販路拡大への取組。周辺地域の活性化策として助成制度の創設。市民参加の市政では、振興局での移動市長室や「かたらん会」を通じ、市民との意見交換会の実施。そうした取組で日田も良い方向に変わっていると思う。

質問 市長の経済対策に疑問を感じる。有効求人下落の一途で、

観光客は十七年から百三十万人減り更に厳しい状況になっている事をどう判断しているのか伺いたい。

市長 私の施政に対する評価はいろいろと思う。経済の活性化には、日田の物産を外に売る、また外から人を呼び込むことが不可欠と思いい、物産の販売に力を入れた。

質問 木材の需要拡大策として掲げた「日田杉の家モデル住宅事業」や日田滞在型観光開発、修学旅行の誘致の現状について伺う。

市長 日田杉の家は見合わせる。滞在型観光は今後も検討し、修学旅行の誘致は実現していない。

林業の活性化について

溝口 千壽

質問 市の森林、林業の現状をどう捉えているのか、またそれを踏まえ、今後どのような林業行政を展開しようとするのか伺う。

部長 市は人工林が七割を占め、ほとんどが伐採期を迎えているが小規模林家が多く、木材需要の低下や林業採算性の悪化から林業への関心が薄れ、生産活動の停止や過疎化、国土保全等の多面的機能

の低下が懸念される。このような中、地域材の利用拡大による森林資源の循環や適正な管理を進めることで、関係者が一体となった森林資源の育成と活用が重要である。加えて、森林・林業再生プラン等の国の動向を見ながら、助成制度等を最大限に活用し、担い手の育成等積極的に取り組んでいく。

質問 林業技術の継承が緊急の課題である。そのためにも若者の雇用創出が必要であるが、その現状はどうなっているのか伺う。

部長 市はこれまで、林業関係者の雇用の安定と創出を図るため、森林組合作業班員雇用安定推進事業等や大分県が行う研修への参加費用を助成するなど専門知識修得を支援し、安定化を図っている。また、雇用創出に向け、森の担い手緊急雇用対策にも取り組んでいる。また過去三年間では、林工卒業生の約四割が林業事業者や製材業の林業関係職種に就職している。

質問 カーボンオフセットの取組はどう進めるのか伺う。

部長 この制度について調査したが、国の制度に登録しても取引が成立しない等検討課題が多く、更に調査研究を重ねる必要がある。

咸宜園世界遺産登録に向けての取組と対策

坂本盛男

質問 世界遺産登録に向けた取組と世界遺産推進室のこれまでの対応について伺う。

教育次長 市教委では、本年五月末に、日田市世界遺産登録検討委員会を発足し、普及啓発活動、外部の研究機関と連携した調査研究、関係する四市と連携した合同学会議や協議会の設立に向けた協議を行ってきた。世界遺産推進室と十月に開館した咸宜園教育研究センターを両輪として、登録に向けた取組を今以上に推進していく。啓発活動として、広報やホームページを活用し、今後、世界遺産に関する講演会への呼び掛けやまちづくり活動補助制度、市民まちづくりパートナー制度を活用し支援していきたい。

質問 多面的機能を持つ農業用水路（小ヶ瀬井路）に対する市の見解と、市道に平行して多数存在している用水路の改修について伺いたい。

部長 農業用水だけの利活用にと

どまらず、雨水の排除機能、防火用水や生活用水など市民生活に大いに役立っている水辺空間の創出など、水郷日田のイメージアップに欠かすことのできない重要な施設と認識している。用水路の改修については、管理者である土地改良区で改修すべきと考えているが、水路等の維持管理ができていない箇所もあり、日田市土地改良区及び市の関係機関で、その取扱いを現在協議中である。

国の地域主権改革と日田市の活性化につなぐ

高瀬剛

質問 日田市の活力創造プロジェクトについて伺う。

市長 限地区の観光再生、日田のこれからの将来を考えるための宝さがし、また咸宜園の世界遺産登録の推進、豆田の岩澤画伯の記念館の設置、さらに、これから日田を担う人材となる若者の海外派遣、それらを時間を掛けて市民の皆さんと一緒に取り組んでいく。

質問 相模原市での平成山鉦の展示の反響について伺いたい。

市長 山鉦の出演、祇園囃子の演奏により日田が大分県にあり、九州にある。そしてこんな素晴らしい文化を持っていることをアピールすることができた。

質問 集団顔見世での山鉦の運行の変更でのJR九州との協議について伺う。

市長 まちづくりを考える上で、JR線で分断されていることは問題でもあり、今後の課題でもある。

質問 山鉦が運行できるようにJR九州との協議、調査研究、設計は



九州ひたフェア（相模原市）

できないか伺う。

市長 JRとは協議する。経費を掛けてやれるものかも含め協議を行う。

質問 豆田地区の山鉦収納庫を持たない町内への市からの助成はできないか。

部長 地元の振興会もそういう思いであり、祇園全体も考え山鉦振興会とも議論していく。

質問 このほか、日田キャノンマテリアルの操業開始に展望が見えたこと。核廃絶・平和行政についての要請、消費税増税問題についても市長・部長に答弁を求めた。

国保税の引下げの財源はある

大谷敏彰

質問 国保税引下げの財源は、積立金一億円と一般会計からの財政支援、つまり財政安定化支援事業の市の負担すべき二十％分の合併後の分でも一億七千万円ある。合わせて二億七千万円を国保会計に繰り入れれば、三十％も引き上げなくて済む。この財源を活用して引下げを検討せよ。

部長 一般会計からの繰入れは国

の基準があり、この分は入れている。財政安定化支援事業の市の負担分二十%については、市の判断で繰り入れていない。今回、国保会計の積立金は、五億円を繰り入れているので保険料アップは抑えられた。

質問 市民から高い国保税で「生活できない」とか「借金して払っている」という声がある。国保積立金の五億円の繰入れは、市の積算ミス四億七千万円の穴埋めに使っただけ。市の二十%の負担分は国保会計に入れず、一般会計の基金四十六億円の中に数億円ため込んである。市民の「国保税を引き下げて」という九千人の署名にこたえ、流用しないで活用せよ。

市長 国保運営協議会の答申もある。議会でも決まって、民主的手続きは経ている。県下で市の国保税の水準の論議を踏まえて繰入れは考えるべき。今後は、税率を一年ごとでなく、三年など複数年で考える。

質問 市内経済の状況から、市の特別融資制度（保証料、利子三分を補助）は、継続してはどうか。
部長 商工会議所関係、金融関係と協議したい。

松原・下笠ダムのアオコ対策を

吉田 恒光

質問 下笠ダムでは四年連続、松原ダムでは二年連続多量のアオコが発生している。アオコ発生の原因と対策について伺う。

部長 秋にかけて気温が高く、ダム湖の流水温も高く推移している。また、貯水池内の水の循環が悪い状況にあったこと、流入河川の栄養塩が近年やや高く、アオコが発生する環境となったと考えられる。市として、下笠ダムの恒常的対策として曝気循環装置の早期設置を強く要望する。

質問 大山ダムの水質対策は万全なのか伺う。

部長 大山ダムの水質保全対策として、選択取水設備・曝気設備・流入水バイパスを建設中である。
質問 大山ダム完成後の観光について伺う。

部長 水源地域整備計画が策定され、大山ひびきの郷や水辺の郷おやまが整備され大きな観光資源となっている。今後は烏宿山への散策道の整備、田来原美しい森づ

くり公園を建設する計画がある。点在する施設と連携し、地域の活性化を考えている。

質問 各地域での小学校の統廃合について伺う。

教育次長 上・中津江地区では上津江小学校の位置で統合し、その後、津江中学校で小中一貫教育制を導入することで保護者の同意を得た。前津江地区は大野小学校の位置で協議を進めている。天瀬地区では、東溪地区で馬原小学校、五馬地区では五馬市小学校の位置で協議を進めている。大山地区は委員会組織の準備を進めている。

障がい児の活動支援を 求める

日隈 知重

質問 知的障がいと自閉症を持つ子どもから、一時も目が離せないといった状況にある保護者の精神的・肉体的な負担感を軽減して、障がい児の活動支援を充実することが緊急の課題。中高校生を対象にした児童デイサービスの取組はどうなっているか。

部長 関係機関という話している。今後さらに踏み込んだ協議

をしたい。

質問 障がい児がヘルパーと一緒に外出し、過ごす場所の確保も緊急の課題。公共の場所の確保は、考えられないか。

部長 ぜひ関係機関と協議を進め、確保に努めたい。

質問 遊具事故が起きた公園は、今年三月まで市が直接管理。昨年十月の遊具点検は、市が市民サービス公社に点検業務を委託して行った。使用不可の判定を受けた後、遊具の確認をしたのはいつか。
課長 業務点検を行った後、現場に行っていない。

質問 点検業務を委託、丸投げしたら、後はお任せということになっているのではないか。

市長 （事故の責任は）市と市民サービス公社の両方にある。

質問 市の責任は、どこにあるのか。

市長 丸投げというのが、指定管理は、議会でも議決している。

質問 今年の三月末までは、指定管理をしていない（市が直接管理）。

課長 市の責任は、当然ある。

質問 このほか、地区公民館の法人化、学校の統廃合問題、イノシシの防護柵設置を質問した。

市民ニーズに応えた 地域経済の循環を

矢野 美智子

質問 市内で一戸建て住宅の建築が盛んだった昭和四十年代から四十年が経過、多くの方が七十歳、

八十歳と高齢化し、少ない年金の中で、住宅をリフォームしたいという要望が多くなっている。当市では、リフォームの際に、日田材を二十万円まで支給するという制度があるが、この制度を、障子の張替え、畳替え、ふすまの張替えや住宅事情で合板しか使えないところも利用できるよう、もっと使い勝手のよい制度にできないか。

岩手県宮古市では、二十万円を超えるリフォームに対し、十万円を現金で支給するなど、市民ニーズに幅広く応える制度となっている。
市長 林業日田の矢野市議が、合板を使えとはいささか残念である。そのような制度は考えていない。

質問 私は合板を使えとは一度も言っていない。市長たるものが、けんかを売るような答弁はやめていただきたい。日田市の事業所の九十六％は、今春の高校新卒の採

用を見送っている。市内の求人は、前年同月比で二十四・四％も落ち込んでいる実態がある。海外に梨や家具などの販売に行っているが、もっと市内の事業所に目を向けて、地域で経済が循環するような施策を取るべきではないか。

部長 国内需要に多くの期待が持てない状況から、木材の海外市場開拓に積極的に取り組んでいきたい。また、農産物についても、国内の消費が伸び悩んでおり、日田梨も輸出促進を図っていきたい。
質問 他に住宅新築資金貸付問題について質問した。

市民の目線での 市政運営を

菅田 敏幸

質問 市民との意見交換の場である「かたらん会」の開催が少ないのではないか。

市長 言われれば少なかったと言える。今後はできる限り時間を作って市民の声を聞きたい。

質問 市民の声を市政に反映させるのにどのような手段があるのか。
部長 協議会・審議会での意見、市長のかたらん会、地区振興協議

会からの要望、3日以内窓口での市民相談、パブリックコメント制度、市民へのアンケート等がある。
質問 市議会一般質問などは市政の中に反映されていないのか。
市長 当然、議員からの一般質問等については市民からの意見として取り上げている。

質問 保育料の滞納者徴収について対応が甘いのではないか。
部長 悪質な滞納者には厳しく対応している。滞納を未然に防ぐために、園と密接な連携を取り徴収に協力をいただいている。

質問 奨学金滞納額が減らないが、どのような対策をしているのか。
教育次長 奨学金に対する意識の低さなどがあるが、滞納者と償還計画を相談したり、連帯保証人に督促を行い、悪質滞納者には法的手段も考えている。

質問 学校通学区域の設定規則に不備があるのではないか。
教育長 住民票だけを移して自分の行きたい学校に行くことは、するべきではない。保護者のモラルも問われることになる。

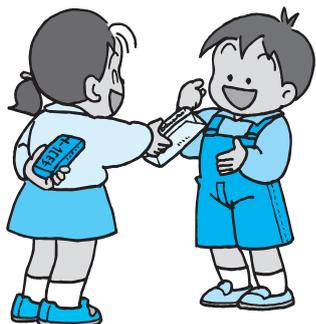
質問 他に、市営住宅の滞納、高齢者虐待、児童虐待、中学校部活動についてなどを質問した。

三月定例会議事日程

十二月定例会の議会運営委員会で、次回（三月）定例会の議事日程案を協議し、次のとおりとなりました。

なお、正式な日程は二月二十一日（月）開催予定の議会運営委員会決定します。

- ・ 二月二十五日（金）…開 会
- ・ 三月七日（月）…代表質問
- ・ 三月八日（火）、九日（水）…一般質問
- ・ 三月十日（木）…議案質疑
- ・ 三月十一日（金）…
- ・ …各委員会（二十二年度分）
- ・ 三月十四日（月）…
- ・ …本会議（二十二年度分）
- ・ 三月十五日（火）…
- ・ …各委員会
- ・ 三月十八日（金）…閉 会
- ・ 三月二十四日（木）…閉 会



報告

各委員会の
議案等の審査結果



● 総務委員会 ●
情報基盤整備は工期内
の完成を

平成二十二年度日田市一般会計補正予算は、歳入歳出予算の総額に、それぞれ三億二千六百三十四万円を追加し、補正後の予算総額を三百七十九億千六百七十四万円とするものである。

歳出のうち選挙ポスター掲示板設置では、枠と足は日田材を用い、盤面は再生ベツトボトル板を使用するが、「掲示板に限らず、日田材を更に活用する考えを持ってほしい」との意見を付し、原案のとおり可決した。

平成二十二年度日田市情報センター事業特別会計補正予算は、歳

入歳出予算の総額に、それぞれ八百九十六万円を追加し、総額を二十億千六百四十三万五千円とし、あわせて地方債の補正を行うものである。

今回の補正は、来年七月のアナログ放送終了後も同放送が見られるようにする設備工事の実施と、伝送路施設整備工事でのN T T柱から自営柱への変更に伴い、不用となる電柱建替補強負担金を伝送路設備工事費へ組み替えることが主なものである。

審査では、電柱共架ができなくなったとはいえ、「一億円以上の設計変更であり、見通しが甘かったのではないか」「昨年の設計変更の経験が生かされていない」との意見があったが、地上デジタル放送への移行を控えていることから

ら、落札者の責任において工期内に完成させるよう付言し、原案のとおり可決した。

また、公益的法人等への職員の派遣等に関する条例の制定は、結論を見るに至らず継続審査とした。

● 教育福祉委員会 ●
静修小・夜明小が統合
して大明小学校となる

小学校の統合については、学校規模の適正化により、来年度から静修小学校と夜明小学校を閉校し大明小学校として新設統合し、また赤石小学校曾家分校を廃止し、赤石小学校へ統合しようとするもので原案のとおり可決した。なお、大明小学校は、平成二十五年度には市内初の小中一貫校となること

から、その対応には遺漏のないよう付言した。

平成二十二年度一般会計補正予算は、次の意見・要望を付し、多数をもって原案のとおり可決した。障がい者の居宅介護給付事業は、ホームヘルパーの確保のため、国・県に対し処遇改善等の働き掛けを行うよう要望した。

保育園、幼稚園のA E D設置補助は、緊急時に適切な対応ができるよう研修体制の充実を要望した。子宮頸がんワクチン等予防接種事業は、市民への十分な周知を行うよう付言した。

スクールバスへのDVDプレーヤーの設置及び教育学習ソフト購入については、効果の測定や安全面への配慮について付言した。

公民館運営事業団設立事業は、財団法人の設立は経費の増大につながるのではないかと、財団法人の在り方や運営方法など十分な時間を掛け検討すべきではないかなど種々議論があったところである。

国民健康保険税の引下げなどの改善を求める請願は、多数をもって採択した。

就学前のすべての子どもの教育と幼稚園・保育園の振興に関する

請願は継続審査とした。
その他の議案は、原案のとおり可決した。

教育福祉委員会で採択した国民健康保険税の引下げなどの改善を求める請願は、本会議では賛成少数により不採択となりました。

● 経済環境委員会 ●
中心市街地のにぎわいの創出と雇用の拡大を

日田市分担金徴収条例の一部改正については、農業活性化緊急基盤整備事業を施行するに当たり、当該事業に係る分担金の徴収に関し、所要の事項を定めたものであり、原案のとおり可決した。

市営土地改良事業の施行については、朝日地区等農業用水の確保を自然流下による取水とするため、天神地区の水路工を整備するもので、土地改良法の規定に基づき県知事に協議し、同意を得るため、議会の議決を求めるものであり、原案のとおり可決した。

平成二十二年度日田市一般会計補正予算は、以下の意見・要望を付し、原案のとおり可決した。
葬斎場の雨水調整池については、

土砂が堆積するなど、雨水の調整機能が低下しているため、浚渫や防護柵の工事を行うもので、これまで適切な管理がなされておらず、今後万全な管理をするよう指摘した。また、工事施工に当たり、安全対策への配慮について付言した。

中心市街地の活性化を図るため、空き店舗等を利用した開業支援を行う商店街活性化緊急支援事業については、当初見込みの件数及び金額を上回ったため、増額補正を行ったものである。本事業の活用により、中心市街地のにぎわいの創出と雇用の場が拡大され、中心市街地の活性化が図られるよう期待する。

天瀬塚田地区への牛糞堆肥もどきの投棄による水質汚染及び生活環境被害に関する請願については、種々議論したが、結論を見るに至らず、継続審査となった。

● 建設委員会 ●
公園遊具事故の再発防止を

平成二十二年度日田市一般会計補正予算は、各種事務事業の進捗状況に合わせた事業費の組替え及

び決算見込みによるものが主であり、以下の要望を付し、原案のとおり可決した。

天瀬温泉まちづくり事業は、桜滝への遊歩道整備を行うため、JR久大本線の線路下の架道橋工事に伴うJR九州との委託協定において、年度割額に変更が生じたこと及び仮設道路設置工事の一部がJR九州の受託工事となったことによる予算の組替えである。本事業は平成二十三年度が最終年度であることから、今後も関係機関と綿密な協議を行い、事業完了に向け、遺漏のないよう要望した。

公園施設整備事業は、検査により部分修繕が必要と判定された公園遊具の補修のため、補正を行うものである。今後は、天瀬総合運動公園での事故を受け作成された、日田市公園危機管理マニュアルに従い、公園での事件・事故に迅速に対応するとともに、管理者として責任の重さを再認識し、保守・点検業務の強化を強く付言した。

平成二十二年度日田市公共下水道事業特別会計補正予算は、国の円高・デフレ対応のための緊急総合経済対策に伴う工事請負費の増額が主なものであり、原案のとおり可決した。

り可決した。

平成二十二年度日田市水道事業会計補正予算は、竹田浄水場外線処理設備設置工事に対する国庫補助金の交付決定に伴う財源の組替えを行うものであり、原案のとおり可決した。

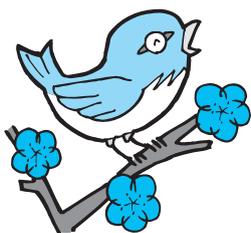
臨時会の結果

去る十一月二十六日に開かれた臨時会の結果をお知らせします。

● 日田市一般職員の給与に関する条例等の一部改正について
(原案可決・多数)

● 日田市特別職の職員の給与等に関する条例及び日田市教育委員会教育長の給与、勤務時間その他の勤務条件に関する条例の一部改正について
(原案可決・全員)

● 日田市議会議員の議員報酬並びに費用弁償及び期末手当に関する条例の一部改正について
(原案可決・全員)



請願の結果

十二月議会では、請願五件が審議され、次の結果となりました。

採択されました

● 現行保育制度の拡充を求める意見書の提出を求める請願



継続審査となりました

● 就学前のすべての子どもの教育と幼稚園・保育所の振興に関する請願

● 日田市天瀬塚田地区への牛糞堆肥もどきの投棄による水質汚染及び生活環境被害に関する請願
● T P P 参加に反対する意見書の提出を求める請願

不採択となりました

● 国民健康保険税の引下げなどの改善を求める請願

意見書

十二月議会では、次の意見書を採択し、国の関係機関に送付しました。

● 現行保育制度の拡充を求める意見書

現在、国において検討を行っている子ども・子育て新システムでは、利用者と事業者の公的保育契約や多様な事業者の参入を促進するため、許可制度を指定制度に改めることなどが盛り込まれており、国及び市町村の公的保育責任を大きく後退させるとともに、保護者負担が増大し、保育所を利用できなくなる子供たちが多数出ることも懸念されていることから、現行保育制度の堅持・拡充を求めるもの。



編集後記

昨年の漢字は「暑」（あつい）。被害を受けたのは高齢者。異常気象の原因であろう温暖化が、確実に地球をむしばんでいます。

新しい年を迎え、「熱」（あつい）の年になりそうです。国政でもアメリカや財界に配慮するこれまでと同じ方向では、国民の政治不信と閉塞感は解決しません。

どちらも、平和と暮らしと環境を大事にする政治と経済のルールが求められています。今年も地方選挙の年、もしかしたら国政選挙かも、しっかりと地方と国の在り方を論議する年にしたい。

（大谷敏彰）

固定資産評価審査委員会委員

次の方々を日田市固定資産評価審査委員会委員に選任することに同意しました。

- 坂本 逸馬 氏（中本町）
- 浦塚 正樹 氏（田島二丁目）
- 財津加奈子 氏（城町一丁目）

虚礼廃止にご理解ご協力を!

公職選挙法(寄付行為)に関するQ&A

Q 議員（立候補しようとする者も含む）が、親族以外の選挙区内の市民へ、寒中見舞い等、時候の挨拶状を出すことはできますか。

A 答礼のために自筆によるものを除き、禁止されています。自筆とは、議員本人の肉筆であって、ワープロ・パソコン等による裏面印刷のものは、自筆とは認められません。

Q 議員（立候補しようとする者も含む）の配偶者等の親族が、葬式に代理出席し、議員の香典を届けることはできますか。

A 議員本人が出席する場合は禁止されていませんが、代理出席の場合は、罰則をもって禁止されています。

この他、議員（立候補しようとする者も含む）が、団体の総会や地区の祭などで、寸志・ご祝儀やお酒を出すことや親族以外へ贈るお歳暮・病氣見舞い・入学祝いなど、従来から慣行として行われていることであっても、寄付に当たりますので禁止されています。

また、議員に対し、市民がこれらを求めることも違反となります。

◎市議会だよりのお尋ねは、市議会事務局(☎二一八二四)へ。市議会だよりは、古紙再生紙を使用しています。また、環境にやさしい「大豆油インク」を使用しています。